

2015年5月12日開催 第598回番組審議会

■ 出席委員

櫻井美幸委員長、上田理恵子委員、神谷徹委員、小菅洋人委員、佐藤卓己委員
津村記久子委員、中野健二郎委員、東野博昭委員、細見良行委員

■ 毎日放送出席者

河内社長、松島専務、榎本専務、梅本常務、豊田取締役、木田取締役
赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長
岡田制作局長、本郷チーフ・プロデューサー

◆ 審議事項

テレビ番組「水野真紀の魔法のレストランR」(2015年4月6日(月)19:00~20:00放送)について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

- *大阪にもおいしい店はいっぱいあるのに、ファインフードが京都でB級グルメが大阪というイメージが最近とみについてきたような気がして、危惧する。
- *総合的な「食」というコンセプトはあるが、街歩きの要素があり、人に焦点を当てる斬り方があり、いろんな楽しみ方ができる番組。スタジオ部分の付け足し感は否めない。
- *今、スマホを見ながら料理をするというのが基本になっている。スマホ版のレシピを充実していったら食生活がぐっとアップすると思う。
- *食べ歩きの番組は結構あるが、これだけ続くところに、やはり制作される方々の知恵がある。
- *食べるという行為がある意味ではグロテスクで、そんなに映さなくてもいいという感じ。食べ物そのものにカメラが寄って行って、食欲が逆に落ちる気分になった。
- *バラエティーは、すごくうるさく、こうあるべきだとか、これを知っていないとだめだというような圧力を感じて、しんどいと感じるが、「魔法のレストラン」に関してはそういう圧力が全くなくて、本当にぼーっと見られるありがたい番組。
- *今回の番組は、タイムリーで良かった。米朝さんの思い出を突っ込んだところがさすがで、すごくトークが効いていたし、人情喜劇というか、笑わせながら泣くというのがすばらしかった。
- *それぞれの店の特色を映像としてもよく描き出していて、ホームページも、アクセスできるようにちゃんと地図も付けて、今後のグルメ体験への参考情報にもなる。
- *食べることが人生にかかわっているというか、その人の生きざまにかかわっていることを描いていて、一種のドキュメントだと思った。

以上